

歴史をめぐる



R-2 唐土(もろこし)の人もたづねし乙寺コース

<p>コース内容</p>	<p>小さな石橋「幸運橋」を渡って、朱塗りの弁天堂と仁王門、「どっこん水」の手水舎、すらりとそびえる国指定重要文化財の三重塔、そして金堂などのいにしへの建造物のほか、写経猿の伝説や松尾芭蕉の足跡など、境内に残るゆかりの場所をご案内いたします。ご希望の方には宝物殿もご案内いたします。</p>
<p>所要時間</p>	<p>約40分～1時間</p>
<p>案内時期</p>	<p>通年</p>
<p>案内可能人数</p>	<p>1名～10名まで</p>
<p>料金</p>	<p>1人100円＋保険料1人100円(宝物殿を拝観する場合は別途300円が必要です)</p>
<p>ガイド人</p>	<p>肥田野 洋子</p>
<p>コースの見どころ</p>	<p>お寺の後ろは日本海まで直線距離で約1.5キロほど。ですが境内に一步足を踏み入れるとたくさんの木々に囲まれた静かな山寺の雰囲気です。夏には蓮が純白の花を咲かせ、境内の森では野鳥たちがさえずり、祈禱の太鼓が響き渡り、そして祈りの香の香りは、奈良時代から連綿と続く乙宝寺の境内を今日も漂っています。</p>
<p>準備するもの・注意事項など</p>	<p>歩きやすい靴でご参加ください。天候によっては足場がぬかるむ所もあります。自然に囲まれた境内なので、夏場は虫よけがあると便利です。</p>